

市民公益活動

たかつきフェスタ・2006

～ 出会おう*つながろう*楽しもう～

日時 06年3月4日
会場 高槻市立生涯
学習センター展示ホール

主催 高槻市・たか
つき市民活動ネットワーク

目的 市民公益活動
への参加啓発と市・市
民・団体間の連携促進、
及び団体間のネットワー
クづくり、並びに協働の
推進の基盤づくりを計る。

参加団体 35 団体

V G 概輪 活動報告の
パネル展示、全会報をホ
ルダーに入れ展示、「わが
まち紹介」紹介内容をホ
ルダーに入れ展示、パソ
コンによるスライド写真
で案内

環境問題：EMWのパネ
ル展示、元氣玉、EMW
活性液を展示販売
スタンブラーリー参加
成果報告 天気に恵ま
れ、多くの市民参加を得
盛況に開催された。

拡大委員会の反省会で
も、「いいフェスタだっ
た」という感想で一致、
継続開催を希望する声
が殆どでした。

出された意見の一部を
ご紹介いたします。

もう少し広い会場で
(車椅子など、バリアフ
リーを目指すために)

終了時間をもう少し
はやめ、盛り上がりを残
したまま終了を

参画市場にブース番
号の表示を

表道路から開催内容
がわかるように、会場外
の看板設置、散らしまき
など

参画市場案内係がい
てもいいのでは

会場レイアウトの工
夫と、役割分担の明確化

メインステージの内



容などの再検討を
V G 概輪も盛況でした。
環境問題を肌で感じ
て・・・元氣玉やEMW活
性液を手で触れて貰った。

反省点も有りました。
前面に会員が立つと、一
般の方が近づきにくいな
ど一考を要します。

春日地区

高齢者の福祉と人権の まちづくりを考える集い

～ 人と人とのつながりを広め深めよう～

会場 高槻市立春日
ふれあい文化センター

主催 福祉と人権の
まちづくりを考える集い
実行委員会

V G 概輪も共催

から排除され、孤立する
ことなく、誰もが健康で
文化的な生活を送れ、社
会構成員として包み込む
ような考え方について学
習するとともに、今後、人
と人とのつながりを広め
深める「取り組みを推進
していくことにより、
高齢者の自立と自己実現
および豊かな地域コミュ
ニティづくり、まちづく
りをテーマに開催。

概輪の参加 概輪は開
催目的に合わせ、
ステージではマジッ
クを行う。吉田真砂子さ
んにお願いました。

ブースでの展示
活動内容のパネル展示
環境を考える・・・EMW
販売・・・EMW希釈
液・元氣玉
成果報告
天気は少し寒く、小雨

目的 集いに参加する
各団体が互いに活動内容
等を認識・理解し信頼関
係を築きネットワークを
より強固なものにする。

そして、認知症高齢者
や社会的弱者が地域社会



模様となり、地区住民の
参加者が少なく感じた。

参加団体が開催主旨を
十分に団体会員に伝達出
来ていないとおもわれる。

体育館で音響効果が悪
く楽器演奏・落語などは
再考を要する

歩きながらの
喫煙はやめて!

禁煙の場が多くなり、
喫煙愛好者にとっては非
常に辛いことと察する。

仕事場・人間関係・家
族等様々な悩みを持って
いる人達のスト
レス解除の一つ
として喫煙によ
ってリラックス
出来る人も居る
だろう。

あちこち禁煙
と掲示されてい
る文字を見ると苦しいだ
ろう。

然し、公的な場、駅等
喫煙場所は設置してある。
以前はどこでも喫煙し
ていたのに定められた場
所に集って、人目を避け
る様に煙を出している人
達があるんだ可哀想。

でも他人に迷惑をかけ
ない姿は立派。

許せないのは歩きなが
らの喫煙者。
火のついたタバコを持
って歩いている人とすれ
違ふ時はとっても怖い。
特に子供にとってはタ
バコの火が丁度子供の顔
に当たる高さ。その上吸
い殻はポイ捨て。
許せない!

喫煙愛好者を責めるの
は酷であるが、他人に迷
惑をかけない様にしてね
環境美化に努めてポー
ダブル吸い殻入れをいつ
も持ち歩き路上に吸い殻
を捨てないで! N・Y

とてつもなく、私にと
って有効で大切な時間が
一日、一ヶ月、一年とド
ンドン減ってゆく。

『今の一年』と『十年
後の一年』の価値は違つ。
肉体的・精神的状態を
考えた時、今の三年と十
年後の三年では全く違つ。
私にとっては『今の一年』
がとっても重要で、
もっともつと充実した一
年にしなければならぬ。
ここまで気が付いて、
さて、どれだけのがり出
来るのかという問題は残
りますが。 S・N

編集後記

とてつもなく、私にと
って有効で大切な時間が
一日、一ヶ月、一年とド
ンドン減ってゆく。

『今の一年』と『十年
後の一年』の価値は違つ。
肉体的・精神的状態を
考えた時、今の三年と十
年後の三年では全く違つ。
私にとっては『今の一年』
がとっても重要で、
もっともつと充実した一
年にしなければならぬ。
ここまで気が付いて、
さて、どれだけのがり出
来るのかという問題は残
りますが。 S・N

とてつもなく、私にと
って有効で大切な時間が
一日、一ヶ月、一年とド
ンドン減ってゆく。

『今の一年』と『十年
後の一年』の価値は違つ。
肉体的・精神的状態を
考えた時、今の三年と十
年後の三年では全く違つ。
私にとっては『今の一年』
がとっても重要で、
もっともつと充実した一
年にしなければならぬ。
ここまで気が付いて、
さて、どれだけのがり出
来るのかという問題は残
りますが。 S・N